

事例
研究高齢者の活躍が
企業の未来を切り拓く

少子高齢化に伴う労働力人口の減少は、企業の人材不足を招く大きな問題となっています。本紙では、高齢者の積極的な採用により、問題解決に向けて取り組まれている企業をご紹介します。本事例を足掛かりとして、高齢者を活用した人材確保にお役立てください。

全国33法人が連携するグループの一員
株式会社 健康倶楽部

平均年齢は57歳
シニアが占める割合は30%

サービス付き高齢者向け住宅「ケアホーム彩り」は、厚別区にある。運営するのは株式会社健康倶楽部（本社：小樽市）。同社管理部の佐々木瞳さんに話をうかがった。

「株式会社健康倶楽部は、湖山医療福祉グループの一員。全国20の都道府県に33の法人が連携し、高齢者のための多様な医療・福祉サービスを提供しています」。医療法人やNPO法人、社会福祉法人などの法人が連携することで、グループ内でサービスを完結できる。また、グループの基盤を大きくすることで経営を安定させ、その結果安定したサービスが提供できるというわけだ。

「健康倶楽部は、札幌および札幌近郊に24の施設を構え、306名のスタッフが運営に従事しています。平均年齢は57歳。約3割が60歳以上のシニアだという。「定年は65歳、65歳になっても本人に働く意欲があれば、嘱託かパートを本人の意志で選択し、働き続けることができます」と佐々木さん。「シニアの方は経験が豊富で、即戦力が期待できます。

面接だけでも良いので来て欲しい]とおっしゃる。

サービス付き高齢者向け住宅「ケアホーム彩り」は、小規模多機能型居宅介護事業所を併設している。ここで働く桜井敬子さん（71歳）は、入職して今年8年目を迎える。

「63歳までは総合病院で、看護師として医療に従事していました。その頃、母親を介護していた妹の姿を見て、介護のことを学んでみたい、また、いずれ自分が介護される立場になった時、どのように振る舞うべきなのか参考にしなかった」。これをきっかけに、ケアホーム彩りに入職したという。「また、人のために尽くしたい、社会貢献をしたい、という思いも強かった」と桜井さん。

総合病院の勤務の後半30年はフリーランスで働いていたという桜井さん。「医師のオーダーに応じて、いろんな科に勤務しました。その結果、幅広い医療知識を得ることができました」。この医療知識が今の職場で役立っていると桜井さんは言う。「医療知識に照らし合わせて、必要だと思った時には、お客様に病院受診を勧めます。お勧めした方に、『あなたのおかげで良くなった』といわれたときには本当に感動しましたね」。ケアホーム彩りは今年設立9周年を迎え



株式会社健康倶楽部は、小樽、札幌、石狩でサービス付き高齢者向け住宅、小規模多機能型居宅介護施設などの医療・福祉サービスを提供している。写真左は札幌の「彩り」、写真中は小樽の「奏」、写真右は石狩の「アルファパレス」。

会社概要	【会社名】	株式会社健康倶楽部	【代表取締役】	香山英司	【資本金】	2,000万円
	【本社】	小樽市花園2丁目5番2号	【事業内容】	介護事業／高齢者住宅事業	【職員数】	306人
	【電話】	0134-25-0051	【設立】	平成15年7月		

この間、誤業は一度もなかったというのも桜井さんの誇りだ。

そこに困っている人がいたら 助けるのがあたり前

月に12~13日、1日4時間~6.5時間勤務しているという桜井さん。休みの日は同じく医療に従事している友人との食事を楽しんでいるという。

「お互い現役で働いている同世代の友人との会話は、励みになりますし、いい刺激を貰っています」。いま桜井さんは1年毎に契約を更新している。「管理者には、わたしが間違ったことをしたり、物忘れがひどくなったら、はっきり言って欲しいと常々いっているんです」。評価の結果、契約の更新をしないと健康倶楽部が判断した場合は……、「ボランティアとしてここに通います！そこに困っている人がいたら助けたい。それが自分にできることならばなおさら」と桜井さん。

いつまでも元気で「現場」にいて欲しい方だ。



桜井敬子さん (71歳)

仕事を終えて帰るとき、必ず「ありがとうございました」と挨拶するのだとか。感謝する心を忘れずにいつもスタッフと接する。



管理部の佐々木瞳さん

「現在、最高齢のスタッフは76歳。経験もちろん大切ですが人柄重視で採用しますが一度面接に来てください」。

社労士からひとこと!



社会保険労務士・
キャリアコンサルタント
産業カウンセラー

小嶋 亜希子 さん

いつまでも「現場」で、いきいきと活躍して欲しい!

桜井さんの「物忘れがひどくなったり、間違ったことをしても、ボランティアでここに通います!」「困っている人がいるならば、助けたいから!」というお言葉は心に響くものがありました。

シニアが働くという事は、自分がシニアになってみないとわからない苦労があります。私自身もエルダーの年齢になった今、

「昨年できたことが同じようにはなかなかできない」という苦労をひしひしと感じています。その「苦労」を桜井さんはポジティブに捉えています。

現在、定年の70歳が努力義務化されています。桜井さんのような方にこそ、今後も「現場」で活躍なさっていただきたいと思いました。

高齢者雇用の求人募集は【就サポ】へ!

お申し込み・お問い合わせ

札幌で就活なら
就サポ 札幌市就業
サポートセンター

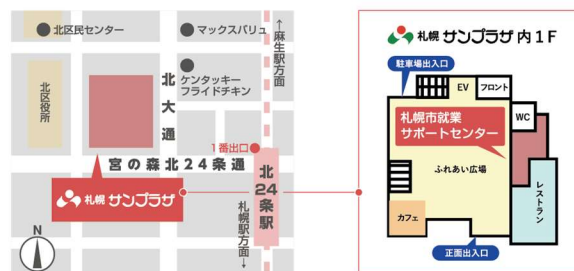
求人開拓室

☎ 011-708-7865

☎ 011-716-6811

《受付時間》平日8:45~17:00(土・日・祝日・年末年始除く)

就サポサービス情報サイト <http://saposen.co.jp/>



札幌市北区北24条西5丁目 札幌サンプラザ1階 地下鉄南北線「北24条駅」1番出口より徒歩3分

札幌市就業サポートセンターでは、札幌市が委託する民間職業紹介事業者とハローワークが共同で無料の職業紹介サービスを行っている全国で唯一の官民共同窓口です。職業紹介やカウンセリング、セミナーなどを組み合わせた多様な就労支援サービスを提供しております。



さっぽろ市
02-H01-22-2341
R4-2-1477

主催：札幌市 実施・運営：株式会社 東京リーガルマインド

XV2200067